

2022年度(令和4年度)事業報告

2022年度は「地域住民がより健康で、より元気で、心豊かに過ごせるよう、学校、地域、行政と連携して、地域の活性化およびスポーツ・文化活動の拡大に尽力致しました。

しかしながら、今年度も「新型コロナウイルス感染症」の拡大による感染予防策を講じながらの活動で、できることから進めてまいりました。規模を縮小しできることから進めてまいりました。以下にご報告申し上げます。

(1) 地域住民の心身の健康づくり支援事業

「健康は長寿への第一歩」をうたい文句に月4回開催のいきいき健康体操教室は、体育館を利用している活動となっています。

健康の街若葉台での健康に対する意識の高さはあり続け、ワクチン接種も進み積極的な活動となってまいりました。太極拳講習会は2つの教室で開催され参加が増えてきています。

(2) スポーツ活動事業

スポーツ大会も、コロナ禍ではありますが、感染症拡大防止対策をし、可能なものから開催をしてまいりました。テニス大会を始めペタンク大会、地域交流ソフトボール大会、ナイターフットサル大会、グラウンドゴルフ大会、3×3バスケットボール大会、地域交流ソフトバレーボール大会を計画し進めてまいりました。しかしながら今年は天候にあまり恵まれず、地域交流ソフトボール大会、ナイターフットサル大会、グラウンドゴルフ大会は天候・グラウンド不良によりやむなく中止となってしまいました。

若葉台大運動会、正月マラソン、駅伝大会は多くの人が集まることから、今年も見送りとなりました。

別途、今年はモルックを体験から進めてきました。屋外で行う競技で初めての方でもすぐになじめて競技ができるものです。幅広い世代で楽しめるニュースポーツです。今後大いに進めていきたい種目の一つです。

テニススクールは、一般の部は月4回の日曜日開催。ジュニアの部は日曜4回・水曜4回の計月8回開催。テニス好きの受講者が熱心に通われています。

テニスコートに関しては11月より3月まで、改修工事のため日向根コート3面が使用できず、大貫谷テニスコート2面のみの使用となりました。利用の皆様にはご不便をおかけしましたが、ご理解とご協力により運営してまいりました。ありがとうございました。

モルック



3×3バスケットボール大会





地域交流ソフトバレーボール大会

(3) 文化活動事業

電子顕微鏡でミクロを観る会主催の市民教養講座では、第24回「ソーラーシェアリングについて」講師：小山田大和氏、第25回「学び直しのミトコンドリアDNA」講師：志村肇氏、第26回「地球での生命の誕生と地球外生命の可能性」講師：山岸明彦氏、第27回「DNAでコンピューターを作る～人工細胞構築を目指した情報生命物理学～」講師：瀧の上正浩氏。そのほか「チリモン探し」を学童夏休み工作教室・夏休み子ども広場で開催。「マイクロプラスチック分離実習」や、3月の「くらりか」理科教室では、真空や圧力について勉強しました。コロナ禍の中で参加者をしばっての開催でした。

市民図書館（SOLA）は、火曜・木曜・土曜・日曜日開館です。おはなし会「絵本の読み聞かせ」を毎月1回開催を予定しておりましたが、コロナ禍で1月は中止といたしました。

その他、正月書き初めについては、やむなく中止となりました。

文化教室は油絵教室・中国語教室・書道教室・二胡教室・クラリネット教室の受講生の皆さんは熱心に受講されており、年々レベルが上がってきています。

(4) スポーツ・文化活動に必要な施設開放事業

37年間続いている学校開放施設（校庭・体育館・格技場・特別教室等）と公園運動施設（日向根テニスコート・日向根球場・若葉台球場・大貫谷テニスコート）を利用して活動しているサークルが数多くあり、日々色々なスポーツ種目・文化種目で活動しており、これらの施設利用の調整・管理・運営をクラブで行っております。この長く続いているスポーツ・文化のサークル活動が、若葉台の元気を持続させ、対外的にも元気な高齢者が多い地域として、近年マスコミでの報道や、福祉関係の海外からの視察が増えている要因になっており、自他ともに自慢できる地域となっていることに、この事業の重要性を感じています。このコロナ禍で、横浜市発行の「学校開放事業に関する注意事項」令和4年6月版、7月版、11月版にて、その内容に従い、陽性者が出た場合の対応等も含め、施設開放事業を実施してまいりました。内容の周知も含め、その対策実践により施設開放による感染拡大は防ぐことができました。

(5) 地域支援事業（運動会、文化祭）

運動会はコロナ禍で、残念ながら中止となりました。屋外の行事ではありますが、あまりにも多い人数が予想され感染症対策に懸念もあり中止としました。

文化祭については、規模を縮小して体育館内でのステージは見送ることとし、催事・展示に限り開催いたしました。

(6) 青少年支援事業

週 2 回開催のジュニアテニス教室には元気な子どもたちが参加しており、年々上手になっています。特に年度末には友達を誘って、大勢参加いただくようになりました。太陽の下、元気いっぱい頑張っており取り組んでいます。

チアリーディング教室は概ね月 3 回開催し、延べ人数で 504 名が受講し、感染予防策を講じながらの活動で、元気な小学生でいっぱいです。

「夏休み子どもの広場」は 3 年ぶりの開催となりました。参加一週間前からの健康チェックシート作成等、感染症対策を十分行い実施することができました。

他の「デイキャンプ」「ミニバス教室」「少年野球教室」などは中止となりました。

(7) その他

旭区さわやかスポーツグラウンドゴルフ交流会（2022 年 12 月 3 日）への協力、学校、地域と連携し、地域コミュニティの形成に努めてまいりました。オール若葉台を対象とする連合自治会、まつりの会、社会福祉協議会が主催する行事にも協力してまいりました。また、若葉台まちづくりセンター・地区センター・住宅管理組合連絡協議会・各自治会と協調する事業にも協力してまいりました。

対外的には、横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会主催の交流会の事業は 3 年ぶりに旧若葉台西中学校校庭・体育館等で開催することができました。

なお、神奈川県が地域住民対象に実施している「認知症低下抑制プロジェクト」は、2021 年 1 月からクラブ施設（旧西中）を利用して実施されており、このプロジェクトへの協力をしてまいりました。2023 年 1 月で無事終了いたしました。

本クラブは、日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ協議会の登録クラブとして認定申請し、認可されました。自クラブの状態を定期的に見直し、持続可能なクラブ運営に役立てて生きたいと思えます。

今後もより多くの方々にスポーツ・健康・文化活動に参加いただき、健康長寿で楽しい毎日を過ごしていただきたいと思えます。そして、関連組織と連携してよりしっかりしたクラブに成長させたいと思えます。

今後とも、宜しく願い申し上げます

所轄庁提出様式 活動計算書
 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
 NPO法人若葉台スポーツ文化クラブ
 (単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	155,000	
賛助会員受取会費	271,000	
受取会費 計		426,000
2. 事業収益		
利用会員(年会費)	2,421,000	
開催事業参加費	5,535,700	
施設管理運営協力費	10,758,980	
公園施設管理受託事業	264,000	
事業収入(自治会)	0	
事業収益 計		18,979,680
3. 寄付金		
寄付金	-4,000	
寄付金 計		-4,000
4. 雑収入		
雑収入	1,474,680	
雑収入 計		1,474,680
5. その他収益		
受取利息	0	
その他収益 計		0
経常収益 合計		20,876,360
II 経常費用		
1. 事業費		
事業人件費	8,170,905	
通信費	495,654	
備品購入費	461,914	
印刷費	76,604	
事務用品費	94,136	
消耗品費	936,708	
広報費	67,963	
旅費交通費	0	
会議費	18,016	
水道光熱費	271,787	
使用貸借料	213,480	
渉外費	11,737	
車両費	19,725	
修繕費	79,289	
雑費	20,862	
租税公課	49,300	
支払保険料	189,680	
士業等支払報酬	451,000	
講師等支払報酬	5,596,586	
外注費	1,188,420	
積立金	700,000	
減価償却費	0	
雑損失	402,500	
事業費 計		19,516,286
2. 管理費		
役員報酬	480,000	
管理人件費	484,740	
総会運営費	0	

渉外費	10,000		
旅費交通費	0		
通信費	28,000		
印刷費	4,000		
事務用品費	1,900		
消耗品費	9,500		
管理費		1,016,140	
計			20,532,426
経常費用 合計			20,532,426
当期経常増減額			343,934
当期正味財産増減額			343,934
前期繰越正味財産額			12,272,458
次期繰越正味財産額			12,616,392

【注記用】 令和4年度事業別費用内訳

(単位：円)

	健康：活動	スポーツ活動	文化活動	施開：公園	施開：学校	施開：取電	地域支援	青少年支援	合計	会計科目
コーチ、講師代	1,295,950	353,446	2,120,215					667,950	4,437,561	業務委託料
ボール、商品、除菌				55,230					55,230	消耗品費
鍵、抽選、管理人、				710,000					710,000	業務委託料
吉田氏資格料		10,000							10,000	業務委託料
モップ、石灰等				86,700	376,283				462,983	消耗品費
テア講師代								417,025	417,025	業務委託料
通信費									0	
備品購入費				31,000	3,900				34,900	
害虫駆除				14,300					14,300	消耗品費
事務用品費				12,000					12,000	
消耗品費		37,862		30,598	41,910			90,113	200,483	
広報費								2,963	2,963	
旅費交通費									0	
会議費									0	
学校開放電気代					30,000	104,625			134,625	水道光熱費
使用貸借料									0	
総会運営費									0	
渉外費									0	
車両費ガソリン代				35,204	73,656				108,860	水道光熱費
修繕費				22,089					22,089	
雑費								8,862	8,862	
租税公課									0	
支払保険料		69,780							69,780	
支払報酬									0	
川島園草刈外注費					457,920				457,920	外注費
白巻ナイター					0				0	
信平コンサル					22,000				22,000	業務委託料
									0	
合計	1,295,950	471,088	2,120,215	997,121	1,005,669	104,625	0	1,186,913	7,181,581	

所轄庁提出様式 貸借対照表

令和5年3月31日現在

NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブ

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	225,851		
小口現金	0		
小口現金(つり銭)	125,000		
普通預金④(toto専用)	0		
普通預金⑤(利用会員費)	2,292,685		
普通預金⑥(運営協力費)	4,609,018		
郵便振替口座	4,827,315		
その他の流動資産	18,914		
流動資産合計		12,098,783	
2. 固定資産			
有形固定資産(建物付属品)	800,505		
固定資産合計		800,505	
資産合計			12,899,288
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	102,000		
預り金(健康保険料)	15,933		
預り金(厚生年金)	29,097		
預り金(雇用保険料)	16,446		
預り金(源泉所得税)	101,220		
預り金(市民・県民税)	18,200		
流動負債合計		282,896	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			282,896
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産の部		12,272,458	
当期正味財産増減額		343,934	
正味財産合計			12,616,392
負債及び正味財産合計			12,899,288

所轄庁提出様式 財産目録
 令和5年3月31日現在
 NPO法人若葉台スポーツ文化クラブ
 (単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	350,851		
横浜銀行普通預金	6,901,703		
ゆうちょ銀行普通預金	4,846,229		
流動資産合計		12,098,783	
2. 固定資産			
有形固定資産	800,505		
固定資産合計		800,505	
資産合計			12,899,288
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	102,000		
預り金	180,896		
流動負債合計		282,896	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			282,896
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産の部		12,272,458	
当期正味財産増減額		343,934	
正味財産合計			12,616,392
負債及び正味財産合計			12,899,288

【注記】

特別会計

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
 NPO法人若葉台スポーツ文化クラブ
 (単位:円)

項目	金額		
2022年度積立(周年記念事業)	200,000		
2022年度積立(マイクロバス買)	0		
2022年度積立(テニスコート整)	500,000		
預金利息	102		
収入の部 合計		700,102	
支出	0		
支出の部 合計		0	
当期特別会計 正味財産増減額			700,102
当期特別会計正味財産増減額			700,102
前期特別会計繰越正味財産額			5,487,726
次期特別会計繰越正味財産額			6,187,828

注:次年度繰越額は横浜銀行定期預金、2023年3月末の残高と一致する。